

電動化対応トラック・バスの導入及び充電インフラの整備を支援します。

1. 事業目的

- ① 現状で高コストの電動化対応トラック・バスの導入支援による技術革新の促進と価格の低廉化、普及。
- ② 電動化対応トラック・バスと一体的に充電インフラの整備に対しても補助を行い、普及初期の導入加速を支援。

2. 事業内容

2030年目標達成に向け、運輸部門のCO2排出量の3割を占めるトラック・バスの低炭素化を推進するため、一定の燃費性能を満たすHVトラック・バスや、EVトラック・バスの購入に対して、標準的な車両との差額分を支援するとともに、これらのトラック・バス導入とセットで、充電インフラ整備への補助を行う。

バス・トラックの種類 (バスは自家用のみ)	対象とする車両の環境性能
大型	2015年燃費基準+10%程度以上
中型	同10%程度以上
小型	同15%程度以上

補助対象の充電設備：事業者の敷地等に設置された、普通・急速充電設備

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（補助率 1/2、2/3）
- 補助対象 地方公共団体、民間団体等（所有事業者に限る）
- 実施期間 令和元年度～令和3年度

4. 事業イメージ

補助額：標準的燃費水準車両との差額の1/2（HV・PHV）
又は2/3（EV）
電気自動車用充電設備の導入費用の1/2

